

BVS隊の白崎です。

今回は、「自然戦隊 ビバレンジャー！」のテーマで行いました。  
隊長挨拶から始まります。

「待ちに待った舎営が始まります。

ビーバー隊は、全体でいつもかっこうよくなることを目指していきます。

これから君たちに、ビーバーのレンジャー、「ビバレンジャー」に挑戦してもらいます。

ビバレンジャーは自然を大切に作るレンジャー、いくつかの使命があります。

どんなことが起きようとも君たち自身でこの使命を達成してください。

行くぞ！「自然戦隊 ビバレンジャー！」ビーバー！」

この後で下村ビバレンジャー隊長が、ビバレンジャーのきまりを話しました。

- ・自然戦隊は、自然を大切に作る。
- ・自然を美しくする行動を取る。
- ・困っている人達を助ける。
- ・体を動かし元気よく遊ぶ。

これを達成するためのプログラムを展開しました。

浜嶋団委員長からスカウトをかっこうよくするためにまず指導者がかっこうよくなろうという提案がありました。

それを集合のときに行いました。

何度もスカウトと競争して整列しているうちにスカウトが頑張るようになり、最後はスカウトが勝ちました。

前で早く集合するところを見てとても気持ち良かったのでこれからも続けることにします。

最初のプログラムで、坂口副長がゴミ大王に扮して盛り上げました。

また、プログラムの定番と言えばスイカ割りです。

スイカ割りはとても盛り上がりました。

スカウト3人のうち、2人スイカを割りました。

最初の一人が半分まで割り、続いてもう一人もその上から割りました。各自が1回だけで一発で決めました。

割ったスイカを切り分けて皆で冷たいスイカを食べ、種を飛ばしていました。

夕食はお好み焼きと焼きそばでした。川辺副長が材料を切ってくれました。ありがとうございました。

お腹がいっぱいになりました。勿論、完食です。

小営火では雨が降り、第3山小屋で行いました。

皆で歌を楽しく歌い、浜嶋営火長の話も真剣に聞いてくれました。

小営火終了し、スカウトと保護者は、第3小屋から第1小屋に移動して寝ることにしました。

去年から小屋にキャンプ気分を体験できるように簡易テントを設置しておきましたから、それを見たスカウトは大喜びでした。

第1日の終わりに、スカウト達は、七夕の短冊に願い事を書きました。

この後で、ちょっとだけ失敗がありました。

坂口副長が第1山小屋に来るのを待っているときに、スカウトから怖い話をしてほしいと頼まれて、

浜嶋団委員長が話すことになりました。

部屋の電気を消して懐中電灯一つを中央に置きました。

途中で、笑顔だったスカウトが動き始めて、おかしいなと思っていたら怖くなってしまったのです。

団委員長が途中で明るい話題に変更したのですが、スカウトが泣き止まなくなりました。

これで、保護者懇談会ができなくなったのです。

二日目は、雨が止んで川遊びができました。水が冷たくても、やっぱり、スカウトは自然の遊びが一番楽しかったみたいです。

特にスカウト達と浜嶋団委員長が水のかけあいをしてはしゃいでいました。

去年は大雨で川遊びが出来なかった思い出ですが、日頃の行いが良く、いい思い出ができました。

綱渡りは、わくわくする自然の遊びです。

ビバレンジャーたちは、最初は短い距離を渡りましたが、最後は長い綱渡りになり、これを渡り切ってみごとビバレンジャーに合格しました。

舎営のラストシーンです。

昨夜、スカウトが短冊に書いた願い事は、3人とも「長く生きる」ことでした。

七夕の飾りを持った織姫と彦星が願いを叶えるためにやって来ました。

「長く生きる」→ゲームで「長い木」になってもらい、「長生き」が叶えられました。

私がスカウトにさせたい事は、元気な声を出すことです。

スカウトの声が小さいのは、元気がないのか、緊張して出せていないと思います。

そこで、皆が知っている歌を指導者から大きな声で歌い、スカウト達が大きな声を出せるように考えています。

歌だけでなく、挨拶と返事も大きな声にしたいです。

他の隊のスカウトに負けないように声を出せるスカウトにしたいです。

そこで待ち時間に何度も歌を歌ったり、レンガ広場に移動するときに、歩きながら皆で大きな声で歌を歌ったりしました。

閉村式は記念品をスカウトに渡し、ビバレンジャーバッジが完成しました。

ビバレンジャーバッジを大切に持っていて下さい。

自然を大切にするビバレンジャーの気持ちを忘れないようにしてほしいと思います。

ビーバー隊は、スカウトがカッコよくなり、これからビーバー隊に入る人達にカッコいい姿を見せることを目指します。

応援指導者の皆さんのお陰で助かりました。ありがとうございました。